

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

租税滞納状況を公表

Q : 国税庁が租税滞納状況を公表したそうですが、どのような内容だったのですか？

A : 新規滞納発生割合は、過去最低で1.7%だったとのことです。

【解説】

国税庁は、このほど、平成18年度の租税滞納状況を取りまとめ、公表しました。

それによりますと、新規発生滞納額は8,998億円で前年度より3.2%減少。新規滞納発生割合は1.7%と過去最低水準でした。

滞納整理は、消費税の滞納事案や大口・悪質事案を優先的に処理するとともに、少額事案については、納税コールセンターを利用して滞納を減らすようにしており、平成18年度は、滞納整理額が9,998億円と新規発生滞納額を1,000億円上回りました。

また、滞納整理中のものは、前年より5.6%減の1兆6,844億円と8年連続で滞納整理額が減少しています。

税目別にみますと、新規滞納税額は、消費税が最も多く3,964億円(44%)、次いで申告所得税が1,811億円(20%)、法人税が1,552億円(17%)、源泉所得税1,065億円(12%)となっており、整理済額は消費税額が4,184億円、申告所得税が2,078億円、法人税1,690億円、源泉所得税1,224億円となっています。

納税コールセンターでは、延べ82万件に催告を行い、56万件が完納、7万件に納付誓約を取り付けており、平成18年度には1,220億円が完納されたようです。

